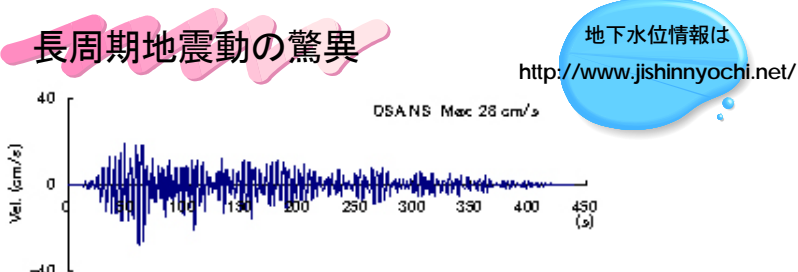
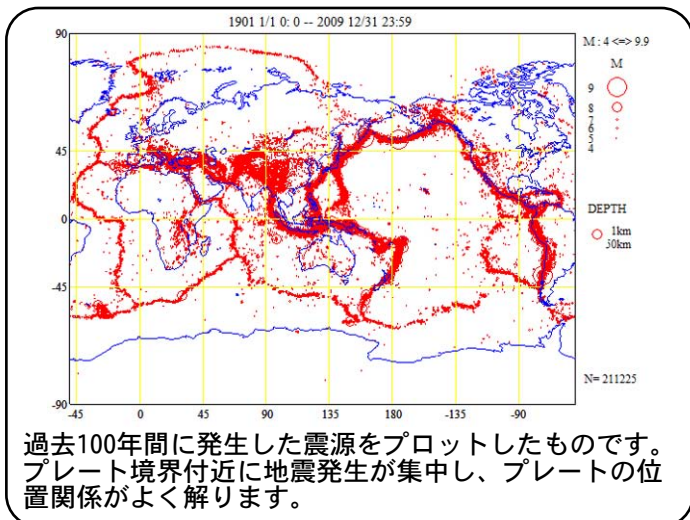




震度7の激震から15年が経過し、震災を知らない世代が徐々に増えてきました。しかし、次の大地震は確実に近づいています。緊急地震速報などのシステムも開発され運用が始まってから少し大きめの地震が来ましたが、どれだけ有効に情報が伝えられたでしょうか？震源からの距離や深さで揺れの到達する時間が決定されます。十分に時間があれば備えることが可能ですが、数秒しかなかったらどうしますか？
 地下水位観測・天空観測からの確に前兆現象を捕らえ判断し、いち早く情報を伝えるという重要な使命にNPO法人地震予知ネットは取り組み、挑戦しています。



想定されている南海地震の大阪市内での波形です。5分以上揺れが続きます。アスペリティーの規模からM8.4と推定されています。次は東海・東南海との3連動地震とも予測されています。その時には、M8.6以上と考えられています。
 また、最近の研究で固着域が日向灘まで続いている可能性があり、想定される地震の規模はより巨大化すると発表された。(日本地震学会秋季大会)

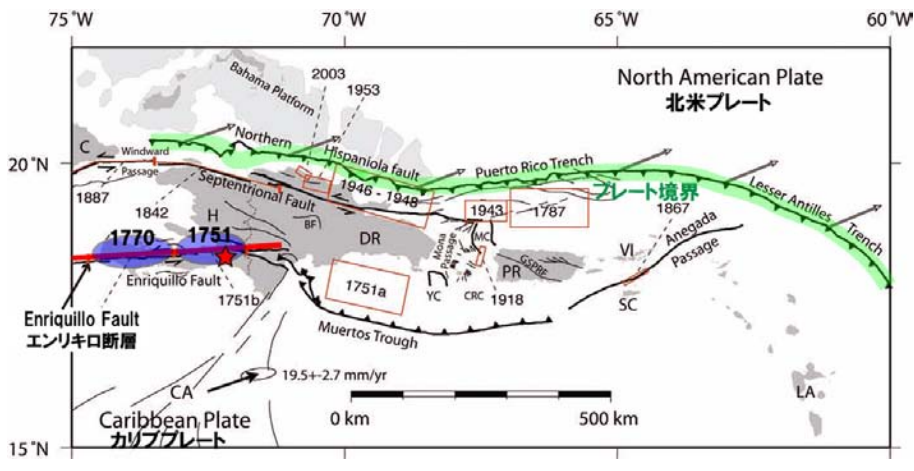
*** 野島断層の岩盤回復 ***

1995兵庫県南部地震で地表に現れた野島断層破断面が自然にくっつき硬くなり歪みを再びため始めた。1997年から3年おきに産業技術総合研究所・防災科学技術研究所などのグループが断層破断面の地下岩盤に圧力をかけて水を注入し水の浸透度を調査した結果2003年から水が通りにくくなったことから岩盤が回復したと推定される。

カリブ海・ハイチで M7



2010年1月12日午後4時53分(日本時間13日午前6時53分)頃ハイチ南部でM7の地震が発生。USGSによると震源は、北緯18.457度、西経72.533度深さ13km。左横ずれの地殻内(直下型)地震。震源が浅かったため首都ポルトープランスでは、大統領宮殿をはじめ政府機関建物や国連機関建物など多くの建物が倒壊し、火災も多数発生。倒壊建物などの下敷きになった犠牲者は数万人に。
 この地域では、200年あまり大きな地震の発生はなく、1751年と1770年にこの断層活動の記録がある。



webページを更新しました。セキュリティ対策等からサーバの入れ替え、webソフトの切り替えを実施しました。word-pressを使用し、より閲覧・投稿しやすくなりました。



会員募集中!

NPO法人地震予知ネットでは新規会員を募集しております。入会ご希望や本会を知りたい方をご紹介します。

会費納入案内

池田銀行千里丘支店 特定非営利活動法人
 普通預金 21473 地震予知ネット理事長 森川 薫
 年会費 個人1口 2,000円
 法人1口20,000円